

シラバス詳細

タイトル「2026年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

8 / 12件

科目名	中級日本語1-1(文法)
講義名	中級日本語1-1(文法)
クラス	
担当教員	永島 恭子(非)
実務経験のある教員による講義	
学年	1年、2年、3年、4年
キャンパス区分	金谷川キャンパス
開講学期	後期
開講時期	(後期)
曜日・時限	金 1
講義室	講義室未設定
科目種別	通常講義(学類)
科目区分	要卒外(入試用)
単位区分	要卒外
単位数	1
準備事項	
備考	
特修プログラム	
直接参照URL	https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047540165689&formatCD=1

授業方法

講義、グループワーク、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

文法項目、文法知識を増やすことを通して、日本語の理解と使用の能力を高める。具体的には日本語能力試験N3レベルの文法事項を学習する。しかし単なる文法項目、文法知識の詰め込みではなく、具体的な場面においてそれが実際に使用できるようになったかどうかを重視する。

To develop competence of usage and understanding of Japanese language by expanding grammatic items. In this class, lessons are focus on gramatical matters of level 3 on Japanese Language proficiency test. On the evaluation, usage of language is more important than the knowledge.

単位認定基準

- ・そこに書かれている出来事、気持ち、願いなどを理解できる。
- ・馴染み深く個人的にも関心があり、日常生活に関連したトピックであれば会話に入っていける。
- ・過去の経験や出来事、将来の夢や希望、抱負を表現するために、語句や句をつなぎ合わせることができる。
- ・意見や計画の理由や説明を簡単ではあるが表明することができる。
- ・ can understand the description of events, feelings and wishes .
- ・ can enter unprepared into conversation on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events)
- ・ can connect phrases in a simple way in order to describe experiences and events, their dreams, hopes and ambitions.
- ・ can briefly give reasons and explanations for opinions and plans.

授業計画

- 1) オリエンテーション、テキスト第1課（1）初めての経験を話す
 - 2) テキスト第1課（2）初めての経験で感じたことを話す
 - 3) テキスト第2課（1）ペットや家族を紹介する
 - 4) テキスト第2課（2）ペットや家族との関係を説明する
 - 5) テキスト第3課（1）参加者募集のお知らせを読む
 - 6) テキスト第3課（2）募集の申し込み方法を理解する
 - 7) テキスト第4課（1）友だちとおしゃべりする
 - 8) 中間まとめ
 - 9) テキスト第4課（2）友だちに個人的なことを話す
 - 10) テキスト第5課（1）レシピを読んでどんな料理が分かる
 - 11) テキスト第5課（2）レシピを読んで手順や注意を理解する
 - 12) テキスト第6課（1）発表で問題提起する
 - 13) テキスト第6課（2）発表で自分の意見が言える
 - 14) 復習
 - 15) 全体のまとめ
- * 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation, Textbook Chapter1(1), Grammar Point1~5
- 2) Textbook Chapter1(2), Grammar Point6~10
- 3) Textbook Chapter2(1), Grammar Point11~16
- 4) Textbook Chapter2(2), Grammar Point17~20
- 5) Textbook Chapter3(1), Grammar Point21~25
- 6) Textbook Chapter3(2), Grammar Point26~30
- 7) Textbook Chapter4(1), Grammar Point31~34
- 8) Midterm exam
- 9) Textbook Chapter4(2), Grammar Point35~41
- 10) Textbook Chapter5(1), Grammar Point42~45
- 11) Textbook Chapter5(2), Grammar Point46~50
- 12) Textbook Chapter6(1), Grammar Point51~56
- 13) Textbook Chapter6(2), Grammar Point57~61
- 14) Review
- 15) Final exam

* These schedules are still tentative.

授業計画（週形式）

教材・教科書

『TRY!日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』アスク出版

"Try! Nihongo noryokushikenn N3 bunnpoo karanobasu Nihongo" ASK publishing

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題による予習、復習をしていくこと。
- ・単位数に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours on preparation and review through homework.

成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

Aquizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)
Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

- S : 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
A : 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
B : 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
C : 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
F : 単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

- S : Very excellent in every points.
A : Very good in every points.
B : Good in every points.
C : Not good in some points.
F : Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に指示する

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using Google Classroom. Google Classroom is also expected to lead students to autonomous learning.

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to clear the criterion score on the J-CAT test.

教員の実務経験の有無